ふるさとから熱いエール！
千葉ロッテマリーンズの 根本朋久投手を激励

決意を述べる根本投手

プロ野球、千葉ロッテマリーンズへの入団が決まった根本朋久投手激励会は、１月３日に関係者など約２００人が参加し、白沢公民館で開かれました。

発起人を代表して、和田スポーツ少年団ソフトボール部の鹿野邦雄保護者会元部長があいさつを行い、佐藤嘉重本宮市長らが祝辞を述べ、地元和田２区を代表して三瓶徳勝さんや根本佳樹同少年団代表が花束を贈呈。根本投手からは、お世話になった同少年団の指導者、鹿野邦雄元部長と磯松等さんに花束が贈られました。

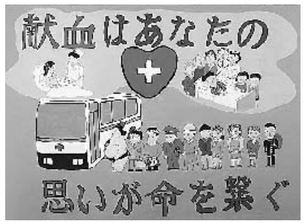
渡辺雄大和田スポーツ少年団主将が、「和田スポーツ少年団の後輩として大変誇りに思っています。ご活躍を期待しています」と激励のことばを送り、高橋精一帝京安積高校事務局長や藤田進同野球部監督、反畑増生元白沢中学校野球部監督らが高校・中学校時代のエピソードを交えながら、「チームの核となるような選手になってほしい。私たちもバックアップしていきたい」とエールを送りました。

根本投手からは、「皆さんのおかげで、今ここに立つことができます。今日のこの日を胸に力強く前に進んでいくことを誓います」と、決意が表明されました。

両親の根本久一郎さんと星子さんは、「これまで支えてくれた多くの人たちに恩返しができるよう、頑張ってほしい。これからも皆さんの応援をよろしくお願いします」とお礼を述べ、最後に今後の活躍を祈り、参加者一同で万歳三唱を行いました。

渡辺雄大和田スポーツ少年団主将と団員の子どもたちから「活躍を期待しています」と激励を受ける根本投手

福島県ジュニア献血ポスターコンクール
白沢中学校２年 佐藤蒼一郎さんが優秀賞受賞



優秀賞を受賞した佐藤さんの作品

佐藤蒼一郎さん

中学生を対象とした献血の基礎知識と普及啓発を目的とした、平成19年度福島県献血ポスターコンクールで、白沢中学校２年の佐藤蒼一郎さんが優秀賞を受賞しました。

応募数57校293作品の中から優秀賞の受賞となったものです。作品は、「献血はあなたの思いが命を繋ぐ」と題したもので、献血の大切さを描いたものです。

佐藤さんは、「昨年は佳作だったので、今回はその上の賞を目指していました。優秀賞を受賞できてとてもうれしいです」と受賞の喜びを語っていました。作品はポスターとなって学校などに配布され、献血推進ポスターとして広く啓発活動に使用されます。

福島県小学生読書感想文コンクール
本宮まゆみ小学校１年 寺西あさひさん「おじいちゃんのごくらくごくらく」が最優秀賞受賞

写真左から本宮まゆみ小学校小松教諭、寺西さん、佐久間教育長、本宮まゆみ小学校安田校長

福島民友新聞社が主催する第29回福島県小学生読書感想文コンクールで、本宮まゆみ小学校１年の寺西あさひさんが、最優秀賞を受賞しました。県内で応募した107小学校、応募総数1,830点中の最優秀賞６作品のひとつに選ばれたものです。今回選ばれた作品は、寺西さんが夏休みの自由課題として、１年生の課題図書「おじいちゃんのごくらくごくらく」を読んで書いた感想文です。

寺西さんは、本を読むことが好きで、図書館で借りたり、買ってもらったりして、普段からたくさん本を読んでいるそうです。

寺西さんの作品は、「全国学芸科学コンクール・読書感想文部門」に出品されます。

社会教育に貢献
山田敏子さんが社会教育功労賞を受賞

佐藤市長へ受賞の報告に訪れた山田さん

山田敏子さん（本宮字舘町）は、長年にわたり社会教育振興に尽力された功績により、文部科学大臣から全国社会教育功労賞を受賞されました。

今回の表彰は、県内で３人、編み物部門では全国でお一人の受賞となりました。山田さんは、本宮手編サークルの会長として活動されており、（財）全日本編物教育協会本部常任理事としても活躍されています。

また、母親の房子さんも編み物教室で指導された経歴があり、親子二代にわたって社会教育に貢献されています。

地域の安全を守り続けて22年
小沼　司さんに日本善行表彰

岡崎本宮警察署長へ受賞の報告に訪れた小沼さん

地域の防犯活動などに貢献し、明るく住みよい環境づくりに尽くされた、小沼　司さん（本宮字立石）が（社）日本善行会から表彰されました。

小沼さんは、昭和61年４月に本宮町防犯協会に加入し、「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに会員の結束を図り、警察署などの機関や関係団体と連携しながら22年間にわたり、地域安全活動に尽力されてきました。長年にわたる献身的な活動が認められての受賞となりました。

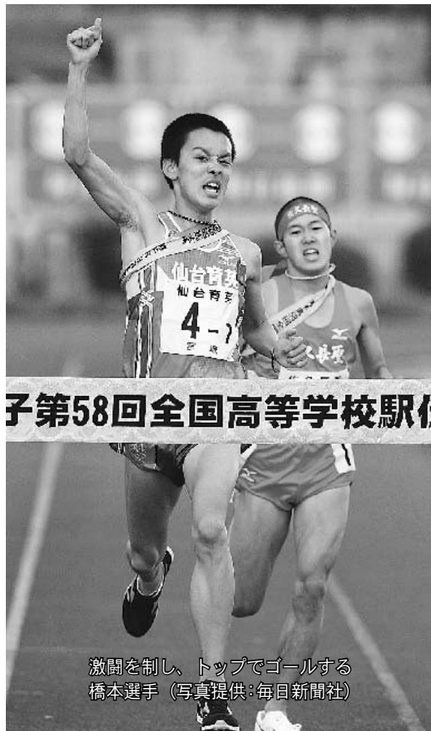
橋本隆光選手（本宮一中卒：本宮字鍋田）
全国高校駅伝で優勝
仙台育英高校のアンカーとして出場

昨年12月23日、京都で行われた第58回全国高校駅伝。男子は、宮城県の仙台育英高校が７回目の優勝を飾りました。

仙台育英のアンカーを務め、優勝のゴールテープを切ったのが本宮一中出身の橋本隆光選手です。中学時代からの才能が認められ、仙台育英高に入学。昨年も２年生ながら４区に出場していました。今年は「１番スピードのある橋本をアンカーに使った」と仙台育英の渡辺監督が話すとおり、アンカーとして期待どおりの走りを見せ、０秒差で佐久長聖高校との激戦を制しました。

12月29日、故郷本宮に里帰りした橋本選手は「昨年は準優勝でしたので、優勝できて本当にうれしい。卒業後は城西大学への進学が決まっていますので、箱根駅伝に出場することが目標です」と抱負を話していました。これからのさらなる活躍が期待されます。

◀中学時代から一緒に練習している「みずいろランニングクラブ」の皆さんに優勝の報告をした橋本選手



激闘を制し、トップでゴールする橋本選手（写真提供：毎日新聞社）